

株式会社 高岡市衛生公社

高岡市衛生公社は、昭和34年に高岡衛生工業株式会社として発足し、昭和42年には高岡市の経営参画を得て、高岡市衛生公社となりました。以来、高岡市民をはじめ多くの方々に支えられ、今年創業60年を迎えました。

高岡市材木町にある本社からは毎朝多くの作業車輛が出勤し、一般家庭・企業からの廃棄物の処理の他、し尿の汲み取りに浄化槽の管理清掃、下水道他の各種施設・設備管理に解体工事など、多種多様な業務を行っています。

環境問題が叫ばれる昨今において、いわゆる「静脈産業」である当社の事業活動は、環境保護に大きな責務を負っています。今後もさらなる環境負荷の低減を図り、市民の皆様の快適な暮らしをサポートできる企業を目指す中で、美しい地域環境を未来へと届けられるよう、日々努めていきます。

当社のモットーとして、「社員の健康は、会社の健康」を掲げています。良い仕事をするためには、健康でいなければならない。今回は、当社の「社員の健康」づくりへの取り組みを、ご紹介させていただきます。

1 健康診断の実施

当社では、毎年秋に生活習慣病予防健診（35歳以上）と定期健診（35歳以下）を実施しています。併せて解体業務従事者には石綿・騒音の特殊健診を、夜間作業従事者は年2回の定期健診を実施しています。定期健診では法定健診項目に加え、大腸がん検診（35歳以上全員）、胃がん検診（35歳以上希望者）、乳がん検診（女性40歳以上希望者）、

子宮頸がん検診（女性20歳以上希望者）を行っています。

2 専門機関・産業医による指導

健康診断で有所見と診断された従業員を対象に、管理栄養士による特定保健指導を行っています。個別面談によるアドバイスや手紙により、生活習慣の問題点を指摘することで、継続的な努力を促

3 「健康経営優良法人2018」の認定

今年5月、当社の健康への取り組みが認められ、外部から講師を招き、健康教室を年2回程度開催しています。また、労働衛生活動の一環として、

経済産業省・日本健康会議が認定する「健康経営優良法人2018」の大規模企業部門（ホワイト500）に認定されました。今後、社員の健康づくりに関心を持って取り組んでいきます。

4 禁煙の呼び掛け

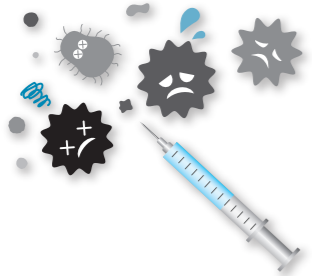
社内での喫煙者の割合が高いことから、社長自ら禁煙を強く促し、管理職もこれに倣い啓蒙を行うことで、喫煙率は年々低下しつつあります。今後もポスター掲示や禁煙セミナーの開催等を通して、さらなる喫煙率の低下を目指していきます。

5 ストレスチェックの実施

一昨年より、定期健康診断の実施と併せて、全従業員を対象にストレスチェックを実施しています。チェック結果については、プライバシーを厳守し、各個人が自身の状態を把握する手助けを行っています。

6 インフルエンザ対策

3年前に社内インフルエンザが流行したことをきっかけに、全従業員を対象にインフルエンザ予防接種を健康診断と併せて行っています。



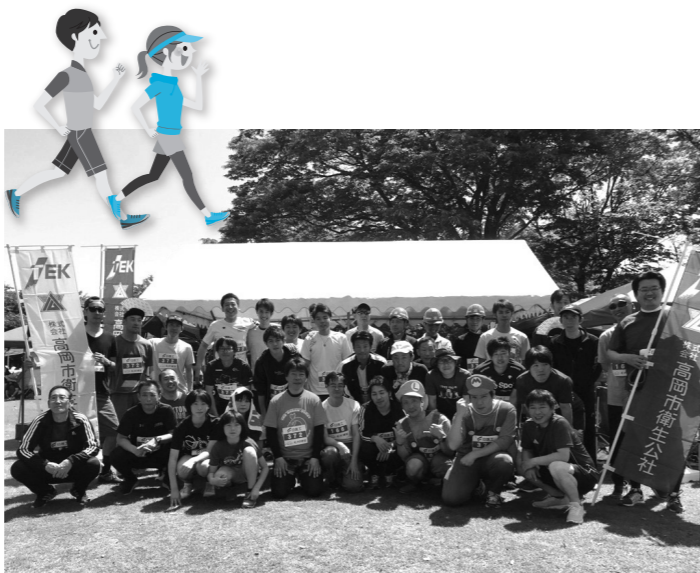
7 血圧計の設置

今春、本社および他営業所合計5カ所に血圧計を設置しました。今では毎日の測定を習慣としている従業員も数多く見られ、健康意識への高まりが感じられます。



8 いっちゃんリレーマラソン参加の呼び掛け

毎年6月に太閤山ランドで行われる「いっちゃんリレーマラソン」に、今年は2チーム計40名が「チームTEK」として参加しました。これまでは、個人で参加していたものが、昨年より会社が積極的なサポートを行ったことで参加者が大幅に増加しました。このことから、社員間のコミュニケーションの向上に繋がった他、マラソン準備のためにウォーキングやジョギングを行う人も増え、日頃の運動不足解消に一役買っています。また、さらなる高い目標として、フルマラソンの「富山マラソン」へ挑戦する人も増えつつあります。



9 今後の取り組み

当社従業員の健康課題として、生活習慣病予防が挙げられます。講習会や特定保健指導による対策を行っていますが、日頃の生活習慣が直結する分野であるので、今後も継続的な活動による、従業員一人一人の意識付けが必要であると考えています。また、管理職・職長は、常に所属員の健康状態に注意を払い、健康診断で有所見と診断された者には積極的に再受診を促し、チーム全体・会社全体で健康を目指していきます。「社員の健康は、会社の健康」を実践できるよう、これからもより一層頑張っていきたいと思っております。

【山岳診療所でのボランティア活動】

診療放射線技師
金山 鎮之

平成30年8月6日から10日まで標高2600mの双六診療所での、ボランティア活動に、当協会から増山医師、松井看護師、金山放射線技師が参加してきました。

富山大学北アルプス双六小屋診療所は岐阜県高山市の双六岳と縦沢岳の鞍部にある山中の診療所です。そこで夏山のピーク期間中に常駐し、登山者の病気・怪我などの治療および救護活動にあたっています。スタッフはドクター・看護師他、富山大学医学部の学生を含め、計5名で活動しました。

今年は夏の猛暑のせい、双六診療所に到着早々、荷物の整理をする間もなく患者さんが来られ、期間中は13名の方が診療所を訪れました。その多くは頭痛・吐気等の体調不良および、捻挫・裂傷等の怪我をされた方でした。



夜電気が消灯されたあとに、体調不良で動くことができないという患者さんには、暗闇のなか懐中電灯を手にドクターとテントまで往診に向かい、足を捻挫されて歩くことのできない年配女性を、診療後に宿泊する双六小屋までおぶってお送りするなど、全てのスタッフが自分のできることを率先して考え、目の前の苦しむ患者さんのために全力で取り組んでいました。

今回の双六診療所での医療経験は、私にとって大変貴重なものとなりました。日頃の健診業務に今回の経験を無駄なく活かしつつ、医療従事者として、また医療機関としてのCSR(企業の社会的責任)を全うするため、今後も地域・社会の貢献活動に積極的に参加したいと思います。

最後に、関係する皆様方、誠に有難うございました。



末田 南

広島出身、生まれたときからカープファン(広島人がしばしば使う自己紹介)です。とはいえ、広島で働いた経験はなく、沖縄と秋田で地域の一般外科に従事していました。観劇と登山、バックパッカー的旅行が好きで、仕事をしていない時間はそれらに充て、たまに野外で医療行為をしていました。

健診業務は初めてですが、少しずつ慣れながら受診される方に得意分野のアドバイスもできれば、と考えております。

新医師紹介



平井 信行

[資格]

医学博士/日本消化器病学会・消化器内視鏡学会専門医/日本内科学会認定医/日本医師会認定産業医/元日本肝臓学会西部会評議員
約40年間、消化器内科(肝・消化器・内視鏡など)の臨床・研究業務などに携わってまいりました。今回、第一線の臨床を引退し、2018年5月より、上部消化管内視鏡検診(胃がん検診)業務をさせていただきます。

安全で精度の高い内視鏡診断を第一に、健診機関での制約もありますが、経鼻内視鏡検診も含め、苦痛が少なく丁寧な検査の提供に心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

すべてのエックス線機器がデジタル化完了



7月に新しい胃部エックス線車を導入いたしました。今回の車両はコンパクトな全長でかつ、待ち合いスペースも広く、快適に待ち時間を過ごしていただける設計となっております。

また、今回の導入で当協会のエックス線機器が、すべてデジタル化されました。受診者様にはより精度の高い検査を提供できるようになりました。

広報紙に関するご意見・ご要望等は、健康推進課 林または保井までご連絡ください。
TEL 076(436)1281 FAX 076(436)1240

平成30年度全国THP表彰

「株式会社ホクタテ」優良賞受賞

平成30年度全国THP推進協議会表彰において、株式会社ホクタテ様が優良賞を受賞されました。

平成30年7月5日(木)に富山県THP推進協議会会長である当協会本部長が、全国THP推進協議会会長に代わり表彰状と盾を授与させていただきました。

株式会社ホクタテ様は、富山市に所在し、ビルメンテナンス・セキュリティ・公共サービス、通信・システム、旅行・商事を行っている事業場です。



平成元年よりTHPに継続的に取り組まれており、定期健康診断、メンタルヘルスチェック実施率100%、精検対象者へ受診費の一部補助、健康づくり体験会や健康体操などの健康づくり活動を自社で行う他に、社外のウォーキング等のイベントにも積極的に参加されています。また、社員食堂では、サラダバーやスムージーの提供などで、野菜摂取をしやすくする工夫や減塩、カロリーの表示など、社員の健康意識の向上を図り、総合的かつ継続的な健康づくりの活動を推進してこられたことを評価され、このたびの受賞となりました。

第47回

「富山県産業安全衛生大会 THP富山大会」が開催されました

富山県産業安全衛生大会(THP富山大会)が7月13日(金)「ボルファートとやま」において開催されました。

今年度は、当協会が「健康づくり相談コーナー」を開設し、体組成測定を実施、また労働者健康保持増進指導機関のアピラスポーツクラブより「行間体操」を行いました。

また、平成30年度全国THP表彰の優良賞を受賞されました株式会社ホクタテ様の管理部 勝島京子氏による「ホクタテときとプロジェクト」と題してのTHP事例発表があり、職場の健康づくりにおける具体的な取り組みや課題などを紹介いただきました。

特別講演として、順天堂大学医学部免疫学特任教授・名誉教授、順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター長 奥村 康先生より「不良長寿のすすめ」と題し、厳格な健康管理が不健康を招く、好きなものを食べて死ぬことほど幸せなことはないなど、ユニークな持論や事例を交えてお話しされました。また、がんと免疫に関して、NK細胞を活性化するためには、何も考えずゲラゲラと笑うことが健康に一番大切であるなどの内容も講演されました。

